



しなの町

議会だより

No. 149

平成27年1月31日号



9年生 町長と真剣に議論

第410回 定例会 12月会議

『子ども模擬議会』を8年ぶりに開催しました。信濃小中学校9年生が、町の将来を見つめて町長に質問しました。

12月会議概要	2～5ページ
一般質問(10名が町政を質す)	6～10ページ
特集 子ども模擬議会概要	11～17ページ
ぎかい活動365日	18～19ページ
わたしの出番・一茶と俳句	20ページ

12月22日までの会期日程を決定!

第411回 定例会開会

信濃町議会第411回定例会が、1月9日に招集され、12月22日までの会議日程を決定しました。本会期は、16代議会の前期・後期の切り替えの年です。各委員会の再編などが予定されています。

新春のご挨拶



議長 小林幸雄

新年明けましておめでとうございます。皆様には、希望に満ちた新年をお迎えになられたことと心からお慶び申しあげます。

さて昨年は、国政についてはアベノミクスの経済効果がなかなか地方には波及せず、地方の衰退が進行しているような印象がありました。

また長野県の1年間は、まさに災害の年で、南木曾の土石流、そして御嶽山の噴火では57人が亡くなり、11月の神城断層地震では、白馬・小谷地区で多大な損害が発生しました。当町でも、総合体育館の被害が大きなものでした。その最中、

町長選挙が行われ、新しい町長が誕生しました。公約の中でも、特に人口減少対策は喫緊の課題です。議会としても是非々の立場に立って、財政状況と見比べながら実施するよう見守っていき

ます。議会においては、2年度の通年議会も大過なく経過しましたが、流山市議会からの表敬訪問や、子ども模擬議会を8年ぶりに開催するなど大変に忙しい1年でした。

今年北陸新幹線及び、北しなの線が開業されます。いずれも当町にとって重要な問題です。

議会といたしまして、その責務を十分に認識し、議会改革や活性化に、全員一丸となって取り組むつもりです。町民各位の一層のご理解とご協力をお願いし、年頭のご挨拶といたします。

12月会議概要

12月会議が、12月8日から19日までの会議期間で再開されました。

町長改選後の初会議ということで、一般質問では、横川新町長に対して10名が一般質問を行いました。

町長提出案件は、条例制定・改正案12件、補正予算案9件、他審議案2件と副町長人事案件の合計24議案が審議され、請願・陳情5件も審査されました。この会議終了をもって、第410回定例会は閉会となりました。

条例制定

委員会審査

ており、評価します。より一層のサービス提供に尽力願いたい。

信濃町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例

○民間の介護予防事業者の参入に対して、運営の基準を定める条例
(賛成討論 橋崎一雄委員)

国の基準に加えて、暴力団排除と記録保存に対する町独自の規定を加え

信濃町地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る基準を定める条例

○「介護保険法」の規定により、支援事業の基準を定めるための条例
(賛成討論 酒井 聡委員)

次期介護保険事業計画に関して、介護予防が大きな問題になってきます。条例で基準を定めること

によって、内部強化を図っていただきたい。

人事案件

信濃町副町長の選任について

○副町長の選任に関する人事案件が最終日の19日に提出され、和田 勇人氏を副町長に選任することを全員賛成で同意しました。

和田 勇人さん (平岡)



信濃町放課後児童クラブの設置及び運営に関する条例

○「子ども・子育て支援法」によって、4月以降の児童クラブの運営基準などを定めた条例
(賛成討論 橋崎一雄委員)

条例制定により、児童クラブの位置づけがなされました。対象学年も6年生まで

課題は山積! 横川町政

どう舵を取る



横川町長の初登壇

拡大されたことで、保護者の子育て負担が軽減されることを評価します。



児童クラブ

条例改正

委員会審査

信濃町税条例の一部改正
○29年度以後の町民税に對して、一部附則条件を削除して課税するための条例改正

信濃町福祉医療費給付金支給条例等の一部改正
○関係法令の名称変更により、支給対象者が変更される内容の条例改正

(賛成討論 酒井 聡委員)
関係法令の名称変更による改正ですが、他の要綱・規則でもこうした改正を怠らないようチェックを求めます。

信濃町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正
○4月1日より、し尿くみ取りに関する手数料を値上げする条例改正
(賛成討論 橋崎一雄委員)

6年ぶりの改定で、許可業者にとつての厳しい状況もありますが、下水道の接続率アップや弱者世帯に対する恩恵の検討もお願いしたい。

信濃町国民健康保険条例の一部改正
○政府通達により、出産時に受け取れる一時給付金(42万円)のうちの配分が変更される条例改正
(賛成討論 佐藤仙治委員)

出産一時金のみならず、他の部分でも補助を検討いただき、環境整備をお願いしたい。

補正予算

総選挙と災害復旧で補正予算 「災害復旧関連に5724万円」

信濃町指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例の一部改正
○「暴力団排除条例」の内容を、反映させるための条例改正
信濃町公営住宅条例の一部改正
○「生活保護法」と「DV防止法」の改正による条例改正

保育園の設置及び管理に関する条例の一部改正
○「子ども・子育て支援法」改定による条例改正
(賛成討論 酒井 聡委員)



総合体育館の被害

一般会計補正予算 (第5号)
5898万円の増
神城断層地震の復旧関連

歳入 主なもの
○町債 5360万円の増ほか
○歳出 主なもの
○災害復旧費 151万円の増
農林水産施設関連 151万円の増
公共土木施設関連 220万円の増
文教施設関連 4920万円の増

※一般会計補正(第3号)は、衆院選に関する選挙費補正(1090万円増)。専決処分でした。
一般会計補正予算 (第4号)
3310万円の増
歳入 主なもの
○町税 1233万円の増

○繰入金 1500万円の増
○歳出 主なもの
財政調整基金 1500万円の減ほか
○土木費 道路橋梁維持修繕事業 2144万円の増ほか
※補正後の合計予算 53億5133万円

※補正後の合計予算 54億1031万円

水道事業会計補正予算 (第4号)

歳出 主なもの
○災害復旧工事関連
183万円の増
○本管敷設工事関連
250万円の増

あの請願はいま! 町道の認定

深雪1号線 (総延長 526・5m)
深雪2号線 (総延長 124・5m)

○第409回定例会12月会議で採択された、請願第10号「野尻湖グリーンタウン所有道路の一部町道への移管についての請願書」の内容に基づいて、町道認定案件が提出されました。
(賛成討論 永原和男委員)
今後、別荘地内等の道路の町道化が予想され、町の行財政負担の増大が危惧されます。
そこで、別紙のとおり付帯決議案を提案し本案に賛成します。

付帯決議

総務産業常任委員会は、議案第115号及び116号の審査にあたり、次のとおり付帯決議する。
今後、本件が前例となり別荘開発業者等から、別荘地内等の道路を町道化することを求められることが予想され、町の行財政負担が増大することが危惧されます。そこで、町長においては、左記事項について早急に対応することを求めます。
1 今後の町道認定に際しては、本件を前例としないこと。
2 別荘地内等の道路を町道認定する場合の基準を早急に策定すること。

請願・陳情

「手話言語法(仮称)」制定を求める意見書の提出を求める請願書
(請願者)
社会福祉法人
長野県聴覚障害者協会
理事長 井出 萬成
紹介議員 森山 木の实
(賛成多数で採択)

町商工業振興に関する陳情書
(陳情者)
信濃町商工会
会長 間瀬 一朗
(全員賛成で採択)

安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める陳情書
(陳情者)
長野県医療労働組合
連合会
執行委員長 小林 吟子
(全員賛成で採択)

介護従事者の処遇改善を求める陳情書
(陳情者)

長野県医療労働組合
連合会
執行委員長 小林 吟子
(全員賛成で採択)

地域振興・地域林業の確立に向けた「山村振興法」の延長と施策拡充に係る陳情
(陳情者)
中部地方森林労連
全国林野関連労働組合
中部地方本部
執行委員長 後藤 弘二
(全員賛成で採択)

信濃町議会第410回定例会は、12月会議の最終日にあたる12月19日、全日程を終了し閉会されました。
通年議会制度が導入されて2年目を迎えた今定例会は、6回の会議が行われ、町長提出案件117件(そのうち条例制定案件13件)を可決したほか、請願8件、陳情

第410回定例会が閉会

9件を採択し、議員発議も16件を可決しました。



審議に余念なく



商工業の活性化を

また、総務産業・社会文教の各委員会は、会議期間中の委員会審査のほかにも精力的に事務調査を行い、議会運営委員会も議会活性化に向けて事務調査を行いました。

第410回定例会閉会

6回の会議を開催し、町長提出議案117件を可決
請願8件・陳情9件を採択、議員発議16件を可決

第410回定例会 12月会議 議員・議案ごと賛否一覧表

○賛成 ●反対 / 病欠・公務出張等により欠席・議決に不参加 (議長は議決に参加しない (-))

Table with columns for proposal number, content, decision result, and individual council members' votes (represented by circles).

原発の再稼働をしないよう 国に申し入れる考えは

町長「まだ持っていません」



荒井 賢蔵議員

質問 福井地裁の判決は、人間の生命、健康の維持と、人にふさわしい生活環境の中で生きていくための権利を「人格権」とし、その上で求められる安全性に言及していません。

これらを踏まえて、信濃町から80kmの柏崎刈羽原発を再稼働しないよう

国に申し入れる考えは。町長 まだありません。

質問 判決では使用済み核燃料、高レベル放射性廃棄物の危険性、恒久的管理の非現実性から、後世に負の遺産を残すべきでないとしていますか、これは理解できますか。

町長 理解できます。

質問 また、福島原発事故は、我が国始まって以来最大の公害、環境汚染であることに照らすと、環境問題を原発の運転継続の根拠とすることは甚だ筋違いであるとしています。以上、なぜ原発や再稼働がいけないのか理解していただきましたか。

町長 ことあると大変なことになるのは理解しています。

9割給付制度の維持は

質問 国保世帯主9割給付制度を維持すると、

はつきり答弁をお願いします。

町長 継続していくという気持ちです。

質問 選挙公約では医療費窓口無料化を県に働きかけるとありますが、いつを目処にしていますか。

町長 できるだけ早めにと考えています。

質問 病院建設は、住民合意の上で進めるよう要望します。

町長 その方向で進めたいと思っています。



再稼働にノー

町長が目指す町づくりは

町長「人口減少対策で 活力ある町に」



北村 照明議員

質問 町長が8年間温めてきた町づくりについてお聞きします。

町長 町が活力を持つ、そう考えた時、一番の源は人口であると思っております。

人口が減っていく近年の状況下であり、人口減少率を何とか抑えていかねばならない。

人口増の対応は、全国どこでも行っていて難しい時代に入っています。

第一に、信濃町を全国の皆さんに知っていただかないと、移住促進にしてもその方向につながらないと思っています。

当面は、人口減少対策

に対し担当窓口を置いて全国に発信し、いろいろな政策等を進めていきたいと考えています。

質問 窓口はこの課に置き、何人位で進めていきますか。

町長 非常に頭を悩ませているところです。

質問 若者会議の立ち上げについてお聞きします。

町長 事務局とも打ち合

わせをして、できるだけ早めに進めていきたいと思っています。

質問 病院建設の頭金についてお聞きします。

町長 議員の皆様方にも理解いただければ、基金の積み立てなど、今年度末からでもできることを進めていきたい。

しかし状況を考えると新年度というのが一つの位置づけになるのかと思っております。

※他に郷土芸能の保存について質問しました。

信濃町の人口と世帯

11月30日現在	現在
人口	9,105人
男	4,446人
女	4,659人
世帯数	3,423世帯
きょうは	12月25日 木曜日

町の人口掲示板

最終処分場建設計画への スタンスは

町長「搬入は認めないという 思いです」



森山 木の実議員

質問 もしまたこの町で最終処分場建設計画が持ち上がった場合、どういうスタンスをとりますか。

町長 紙面の関係で選挙公報には書けなかったが、明確に搬入は認めないという思いです。

もみだりにゴミを捨ててはならない」と規定しています。事業者でも個人でも、また自分の土地でも、およそ180日以上乱雑に放置されている状態は不法投棄だそうです。

以前から観光業のお宅の向かい側にゴミが捨てられていて、町も何度か土地の持ち主にアプローチしたようですが、解決していません。

町長 法律に沿って、お願いをしながらいよいよご理解をいただくという努力をするのが今のとれる道かなというように思います。

す。

質問 お願いをしながらというのを長くやっていますが、片付けても新たに捨てられてしまっています。「信濃町は不法投棄を許さない」という強い気持ちで取り組むべきです。

町長 同感ですが、今のケースが不法投棄にあたるのかどうかも含めて今後の対応になるのかなと思います。

※ほかに町長の公約について、情報公開について質問しました。

**強い気持ちで
取り組みを**

質問 町内での不法投棄の現場を見たことはありませんか。

町長 そこにあるべきではない物が捨てられているという客観的な状況は見たことがあります。

質問 法律では「何人



何年も置きっぱなしですが

通学定期代補助対策の 詳細は

町長「この会期中に 提示します」



酒井 聡議員

質問 駅の業務管理について、町は信濃町振興局に業務委託をしますが、この方針に対する見解は。

町長 その方向で受託をいただき、進めていきたいと考えています。

質問 事務移管が滞りなくいくかどうか、その心配をしているのですが。

産業観光課長 大丈夫だ

と思っている。

質問 運賃設定による値上げによって、通学定期代の負担が大幅に増えますが、公約の通学定期補助対策の詳細を伺います。

町長 こうした制度を立ち上げるにあたっては、将来的な財政的部分も踏まえ対応したい。

詳細はこの会期中の全員協議会で提示したいと思っています。

質問 土・日・祝日が運休になる、現状の路線バスについての考えは。

町長 もう一步進んで良い方法が取れるかどうか、絶えず研究していく課題だと思っています。

人口減少対策について

質問 町が進めてきた施策は、人口1万人が基軸でした。町長の思い描く人口の最低限のラインは。

町長 今の人口を維持し

ていくのが最低限の努力目標になると思います。

質問 雇用住宅対策の遅れが問題になっていますが、町長の見解と、今後の方針を伺います。

町長 準備不足であったと思います。住宅の確保については、空き家対策と並行して進めていきたいと思っています。

質問 「通勤圏」としての立地をもっとアピールした施策を進めては。

町長 まったくその通りだと思います。並行して進めたいと思っています。



黒姫駅と雇用促進住宅建設予定地

集会所等の老朽化対策はⅡ

町長「方策を考える時期の認識は持っています」



佐藤 武雄議員

制、つまり農地法には抵触しないということではないでしょうか。

農業委員会 農作業の受・委託は自由です。町内農家戸数も26年、1026戸と減少し、受・委託という現象が起きています。

質問 人・農地プランの進捗状況を伺います。

産業観光課長 高齢化や農業の担い手不足が心配される中、地域の皆さんが、話し合いに基づき作成するというところで説明会を経て、平成24年度4地区で作成しました。他地域でもこれから考えていかなければならない状況です。

町長 地域の皆さん方にもご理解いただける、そんな方策を考える時期なのか、という認識は持っています。

農地・農家の現状は

質問 農作業の全面的な受託・委託は実質的には農地の貸借作業と同じであり、企業でも個人でも農業に参入できる法的規

や汽船会社と協議をして、実現に向けて努力してはどうですか。

町長 基本的に大事なことをクリアして要望に添える方向付けをし、そして財政上の問題もあるの

建設残土の現状は

質問 建設残土の置場、埋め立て場所の許可数とその後の経過は。

住民福祉課長 事業施行箇所は14箇所あり全て町内の業者です。安全性を基本に指導協議をしています。

※他に国の事象についての質問しました。



菅川橋実現に向けて地質調査

菅川橋橋について

質問 菅川橋橋の地質調査は12月20日までの工期で進んでいます。菅川区

若者会議の設置とは

町長「若い人の意見を町づくりに活かしたい」



吉岡 輝明議員

質問 選挙公約の若者会議の設置とは、小布施の若者会議を意識したもので

町長 小布施町をまねてうまくいくという問題ではなく、町内外を問わず若い皆様のご意見を聞く機会を作り、町づくりに活かしたいと考えます。

人口減少対策について

質問 町長の公約にあった移住促進担当窓口の新

設はいつか、そして職員が増えるのですか。

有効活用する考えは。町長 国道除雪による破損を避けるためにブルーシートで覆い保護しています。

町宣言塔について

質問 有効活用されていない町有地を、他県の町村で行っているように、一定期間貸与して住宅を建ててもらい、定住者増を図る施策についての見解は。

町長 全国的にユニークな取り組みをしている町村があるのは承知していますが、町民の皆様様に理解をいただけるかどうかは難しい部分があると思います。

町長 設置の経緯については細かく承知していません。宣言塔のみならず町の管理する看板等は整備したいと思っています。

野尻バイパス沿いのナウマン象の冬対策について

質問 野尻湖入口の信号にあるナウマン象親子像を冬場も撮影ポイントとして



信濃町宣言塔 宣言内容が古すぎませんか？

この冬も福祉灯油の実施を提案します

町長「極めて前向きに取り組みたい」



永原 和男議員

質問 厳寒期を迎えます。福祉灯油事業を実施する考えはありますか。

町長 前向きに対応させていただきます。

質問 前向きとはどの程度の前向きですか。

町長 極めて前向きに取り組みたい。(町長は、議会最終日に福祉灯油を実施するための補正予算を議会に提出し可決となりました。)

公約実現を27年度予算に組み入れますか

質問 乳幼児ミルクとおむつ代の補助は。

町長 未定です。
質問 保育料の軽減は。

町長 今の段階では、はっきり申し上げる立場ではございません。

質問 町長の公約で注目の教材費軽減について、教育委員会が予算要求する内容と要求概算額は。

教育次長 25年度教材費の保護者負担額は、848万円。ひとり平均1万4310円です。

質問 保護者負担の教材費848万円。この金額を来年度予算に反映してもらおうように、町長に予算要求していくということですね。

教育次長 教材費という部分では、多少減額します。町長と検討します。

質問 住宅リフォームの助成は。



今年の冬も福祉灯油

町長 継続していきたい。介護対象外となるサービスの対応は

質問 要支援1・2の方が、介護保険の対象外となるのはいつからですか。

住民福祉課長 28年度からの移行を考えています。

質問 要支援前と要支援のサービスは介護の質が違うのでは。

住民福祉課長 おっしゃるとおりです。事業者と相談しています。

町防災計画の見直しは

町長「スピード感を持って」



佐藤 仙治議員

質問 神城断層地震の状況を踏まえ、町防災計画の見直し等は今まで以上にスピード感を持って取り組むべきと考えますか。

町長 一生懸命スピード感を持って取り組んでいます。

質問 今回の地震発生に関する町の対応状況は。
町長 職員の参集・情報収集等「災害対応マニュアル」に基づき、適切に

機能した、との報告を受けています。
総務課長 地震発生後、直ちにオフトーク及び屋外放送で地震発生と、その状況をお知らせし、身の危険を感じた場合は避難するよう呼びかけました。

職員の非常配備は22日当日に町長以下ほぼ全員87名(町内65名)が参集しました。

また、22時29分に「地震災害対策本部」を設置、同時に消防団にも出動を要請し、84名の方が出動、地震被害や避難状況等の把握を行いました。

質問 要援護者等の安否確認は。

住民福祉課長 独居高齢者の方を優先する方針で、民生児童委員の方々に一時的に安否確認をお願いしました。

質問 要援護者台帳の活用状況は。
住民福祉課長 今回は民生児童委員さんの手元にある詳細な情報等の名簿・リストを中心に安否確認をしました。



総合体育館の被害状況

農業振興公社設立は

町長「期限は決めていないが議論を進める」



石川 広之議員

質問 農業振興公社設立についての考えは。

町長 基幹産業である農業を守ることを大前提として、立ち上げる必要があるだろうと思います。

質問 仮称「農業振興公社」の町の体制は。

町長 地域が活性化し、コミュニティ形成が機能していく意味でも充分な検討をしていきたい。期限は決めていませんが、議論を進めていきます。

振興局についての考えは

質問 信濃町振興局についてはどう考えますか。町長 もう少し協議をしっかりと踏まえた上での立

質問 公益法人の自主採算は考えますか。産業観光課長 この団体は収益を生まず、負担金による運営です。

次期情報通信について

質問 オフトークに替わる情報通信の検討委員会の進捗状況は。

総務課長 基本的には機種を決める委員会ではなく、有線系と無線系の資料を示した段階です。



黒姫駅業務委託へ

前町政の総括は

町長「その立場にないが、努力に敬意を表したい」



湊 喜一議員

質問 松木町政の総括と行政の継続、および施政方針は。

町長 総括する立場にないが、町政発展の努力に敬意を表したい。町民益にかなうものと財政を勘案しながら進めていきます。

質問 ジビエの加工所建設は。

町長 補助金を勘案し慎重に検討していきます。

女性消防分団の創設を

地域おこし協力隊の募集は

質問 当町では女性消防団員が活躍しているが、女性のみで構成される分団を創設すると団員増につなげるのでは。

町長 正副分団長会議等で検討は始めている。合意ができれば、進めていきます。

質問 県は消防活動に協力する事業所の事業税を減税しています。町内事業所に対しての周知はできていますか。

町長 初めに聞きまし

た。早急に調査し対応します。

質問 宣伝周知の方法は。

総務課長 広報・ホームページでも可能でしょう。



活躍する信濃町女性消防団員

(一般質問の記事と写真は質問者本人が作成します)

特集 9年生が町長に提案・質問



峯村校長のあいさつ

信濃町子ども議会一般質問通告内容

テーマ	質問事項
1 交流	信濃町の少子高齢化を防ぐために
	外国の方に信濃町に住んでもらうためには
2 安全	通学路の安全について
3 カルチャー	地球温暖化に対する取り組みについて
	住民参加型の町づくり 写真コンテストで地域振興を図る
4 福祉	信濃町の良さを町内外にアピールしたい
	目の不自由な方への移動支援体制と、点字ブロック設置について
5 食	ルバーブを使って信濃町をPRし、農家さんを助けよう!
	特産品を使ったスイーツの開発について 特産品を加工し、広く広告・販売することについて
6 発信	信濃町の良さをPRし観光客を呼び込むために
	文化財を活用した観光客増加と町活性化について イベントを通じてのPRについて

子ども模擬議会

11月7日、議会議事堂において、「信濃町子ども模擬議会」が開催されました。

8年ぶりの開催となった今回は、信濃小中学校9年生から18名の生徒が一般質問を行い、交流・安全・カルチャー・福祉・食・発信の6つのテーマに分かれて、日頃学習した成果を披露していました。

議会議員の一般質問と同様に、左表のように通告書を作成したうえで、鋭い質問の数を町長に



ぶつけていました。

また今回は、議長も2名の生徒が交替で務め、円滑な議事の進行で、「名議長」ぶりを発揮していました。子どもたちの視点に立つ



た問題点や、町の将来を見つめてアイデアを提案する子どもたちの真剣な表情に対して、町長、教育長も真摯に答弁をしていました。

学校長あいさつ

峯村均 校長

本日、子どもたちの学びの場として「信濃町子ども模擬議会」を開催していただき、心より感謝申し上げます。最高学年の9年生は、生まれ育ったこの町に何ができるかを考え、「共に生きる 今、私たちにできること」をテーマに、総合的な学習を進めてまいりました。

本日の発表・質問は、人生15年しか生きていない子どもたちの、独りよがりのものでしょうか。この「子ども模擬議会」が、活力ある町の創造と、1万人の町の再生につながる第一歩になることを願い、学校を代表としてのあいさついたします。(抜粋)

安全グループ

「通学路の安全について」



危険個所の把握は
 私たちは町の安全に關わって、できることがないかと考えました。現在、児童生徒は、バス、自転車、徒歩の3つの方法で登下校しています。そこで、私たちは学校から3キロ以内の徒歩通学路を歩いて、安全状況を調査しました。結果、安全に登下校できるような対策が、多くの場所で見られました。しかし、ここは危ないなど感じた所が2か所ありましたので、質問します。



鳥居川橋T字路

2か所目は、学校東側約300メートル先にある古間信州電気商会さん横のT字路です。ここは、細い道と旧国道18号線が接続している



古間信州電気商会さん横

松木町長 皆さんからお聞きして、自分で行って



次に、古間信州電気商会さん横の所ですが、現在、停止線や標識は設置

また、危険個所については、学校の皆さん全員が場所や、危険な理由が分かるように、学校の中で、広報活動をしていただくとありがたいと思います。また、これからのどしどしそういう意見を町の方に寄せていただきたいと思います。

1か所目のT字路については、原地区に向かって左側にしか歩道がなく、道路を渡らないと、歩道を歩けない状態です。横断歩道の必要性があると思いますので、長野中央警察署に要望しています。



ここで、小中学校の生徒の皆さん全員へお願いですが、交差点では、必ず一旦停止をすることを守っていただきたいと思います。そうすれば、交通事故は減らせられると思います。

また、カーブミラーについては、1基設置されています。停止線や標識については、中央警察署に要望していききたいと思います。カーブミラーについては、両側から来る車両も確認できるようにお願いしていききたいと思います。

交流グループ

「信濃町の少子高齢化を防ぐために」 「外国の方に信濃町に住んでもらうためには」



交流施設が必要では
 私たちは、信濃町は人口が減少傾向にあると知り、どうやったら防げるか、小布施町を参考に、自分たちなりに考えてみました。小布施町では、「楽しんで来られる町」をテーマに、全国的・国際的な若者の交流会を行っています。信濃小中学校では、国内外の大学生との交流会「リベラルアーツ」を今年度も行うと聞き、主催者の大学生の方に、私たちが主体的に関わって、企画運営することをお願いして、2部構成の1部

交流施設が必要では

を担当させていただきます。交流会では、大学生の方々の海外での経験や、生き方を考える上で、参考になるようなお話をたくさん聞かせていただきました。9年生がとても良い刺激になる貴重な機会であり、このような交流会を望んでいることがわかりました。

反面
 ○町外の若者に信濃町を知ってもらおう交流会のような企画が少ない。
 ○交流会を行う公共施設がないため、交流会等がしづらい。
 ○町の良いところのアピールが不足している。
 などの、課題が見つかりました。そこで質問します。



Q 定期的に町外や海外の人たちと交流できる、セミナーハウスのような公共施設を造り、交流会を企画運営しやすい環境を整えること

Q 定期的には町外や海外の人たちと交流できる、セミナーハウスのような公共施設を造り、交流会を企画運営しやすい環境を整えること

松木町長 国際村は合資会社という会社の持ち物になっており、個人や町が自由にできないことをご理解いただきたい。しかし、交流できる場所、機会を設けることは大賛成です。皆さんからのいろいろなご提案を、来年、国際村の村長さんが見えになった時、お話ししてみたいと思います。

松木町長 国際村は合資会社という会社の持ち物になっており、個人や町が自由にできないことをご理解いただきたい。しかし、交流できる場所、機会を設けることは大賛成です。皆さんからのいろいろなご提案を、来年、国際村の村長さんが見えになった時、お話ししてみたいと思います。



多くの交流機会を

Q 特色ある町の教育として、継続的に国内外の学校との交流を行う考えは。
 静谷教育長 学校においてはキャリア教育として、今回の交流会や8年生で行う職場体験、立志式もその一つの学習の機会として、取り組んでいます。

松木町長 国際村は合資会社という会社の持ち物になっており、個人や町が自由にできないことをご理解いただきたい。しかし、交流できる場所、機会を設けることは大賛成です。皆さんからのいろいろなご提案を、来年、国際村の村長さんが見えになった時、お話ししてみたいと思います。

カルチャーグループ

「地球温暖化に対する取り組みについて」 「住民参加型の町づくりについて」 「写真コンテストで地域振興を図る」



温暖化対策は

私たちは、総合学習「わかたけ」で、信濃町における地球温暖化対策について関心を持ち調査をしてきました。

結果、地球に優しいエネルギーとして、木質バイオマスの存在を知りました。

木質バイオマスとは、使わなくなった木材を細かくしたもので、これを暖房に使うと排気ガスの排出量が抑えられます。

もう既に、学校の生活科室で暖房として利用していて、すぐに点火しなかつたり、手間がかかるというデメリットがあり

ますが、温室効果ガスの削減や、地域の木材を循環できるという大きなメリットもあります。

Q 森林環境豊かな信濃町で、木質バイオマスを駅などの公共施設で活用していく考えはありますか。

松木町長 町では、地球温暖化防止実行計画を立てています。

この計画には、役場や病院、保育園といった公共施設において、二酸化炭素を減らす様々な取り組みや削減目標が書かれており、できることから取り組んでいます。

また、町には豊富な森林資源があり、この資源を有効活用していくことで、町全体の二酸化炭素の排出量削減につながればと思っています。

自らの行動しよう

私たちは、町を活性化させるために自分たちで何かできることはないだろうかと考え、ゴミ拾い

や、ふれあい広場に遊具や木の説明プレートを設置したり、古くなった看板やベンチなどのデザインを考えて提案するなど活動しました。

Q このような活動を通して、住民が自ら考え、提案・行動するような、住民参加型の町づくりが欠かせないと思いましたが、どのように考えますか。

松木町長 近年、働く場所や生活場所の広域化や、個々の価値観の違いなどから、地域のコミュニティ活動等に支障が出てきていることは事実であります。

町では長期振興計画のもと、町民と行政の協働による町づくり等を主要施策として、事業を推進しています。

今後も、住民参加型の町づくりの推進は必要不可欠であります。

住民の皆さんへは、こまめな情報提供をし、町の活性化を積極的に推進していきたいと考えています。

写真コンテストで活性化を

私たちが町を活性化するために考えた企画は、写真コンテストというものです。

内容は、住民や観光客が町の絶景を撮った写真を募集したコンテストを開催し、入選した写真はパンフレット、ポスター等にまとめて、町内だけでなく、周辺の地域にも発信していく企画です。

これを実施することによって「住民が主体的に参加し、自分が関わる楽しみ」を味わうことができ



ますし、「信濃町に行ってみたい」「町に住み続けたい」などの思いにつながるのではないのでしょうか。

Q このような写真コンテストを実施することは可能でしょうか。

松木町長 とても面白く、素晴らしい企画だと思います。

過去には、観光協会が実施したこともあったようです。

どこで実施するのが良いのかも含めまして、来年度に向けて是非検討していきたいと考えています。

福祉グループ

「信濃町の良さを町内外にアピールしたい」 「目の不自由な方への移動支援体制と、 点字ブロック設置について」



PRが下手では

私たちは、来たるべき高齢化社会に向けての一提案というテーマで活動してきました。

そこで、商売をしている高齢者の皆さんが思う信濃町の課題は何か、お話を聞きました。

お話を聞いた方々は、信州打刃物・畑山刃物さん、道の駅しなの・ふるさと天望館さん、手打ちそば工房・若月さん、笑みの里・「かあちゃんち」さん、黒姫高原・雪ん子会さんです。

皆さんが口をそろえて言っていた言葉が、「PRが下手」

ということでした。

ルバープは初めて食べる人が、食べたくなるような工夫が必要。

信州そばは、お客さんが手打ちと、機械で打つたものとの区別が分からず、がっかりしてしまう。

Q 一目で、おいしい手打ちそばの店を分かってもらえるようにすれば良いと考えましたが、どのようなPRを考えていますか。

信州鎌ですが、町は蓄積されたデータを活かしていません。

ニーズを調べ、オーダーメイドなどを取って、こんなこともできるということをお話し、アピールする必要がありますと思いましたが、どうお考えでしょうか。

松木町長 ルバープの加工品は、昭和60年ころから始まり、他にも伝統の凍りそば、ヒマワリの種から取った油など様々な特産物を開発し、加工・

販売に取り組んできています。

ソバについては、地元そば屋さんや、県内外に出荷されています。

地域の農産物は、その地域で食べるのが一番おいしいといわれていますが、生産者所得の向上や、加工業者、販売業者が潤う方策を、他町村を参考にし、検討しているところではあります。

古間鎌の後継者については、製造者の減少や高齢化が進んでいます。

原因として、技術の習得に時間がかかることや、安定した収入を得られないことなどが挙げられます。



町では長期振興計画のもと、町民と行政の協働による町づくり等を主要施策として、事業を推進しています。

今後も、住民参加型の町づくりの推進は必要不可欠であります。

住民の皆さんへは、こまめな情報提供をし、町の活性化を積極的に推進していきたいと考えています。

写真コンテストで活性化を

私たちが町を活性化するために考えた企画は、写真コンテストというものです。

内容は、住民や観光客が町の絶景を撮った写真を募集したコンテストを開催し、入選した写真はパンフレット、ポスター等にまとめて、町内だけでなく、周辺の地域にも発信していく企画です。

これを実施することによって「住民が主体的に参加し、自分が関わる楽しみ」を味わうことができ

伝統工芸の灯が絶えないように、各種団体や製造者の皆さんと一緒に検討を進めています。

点字ブロックの実態は

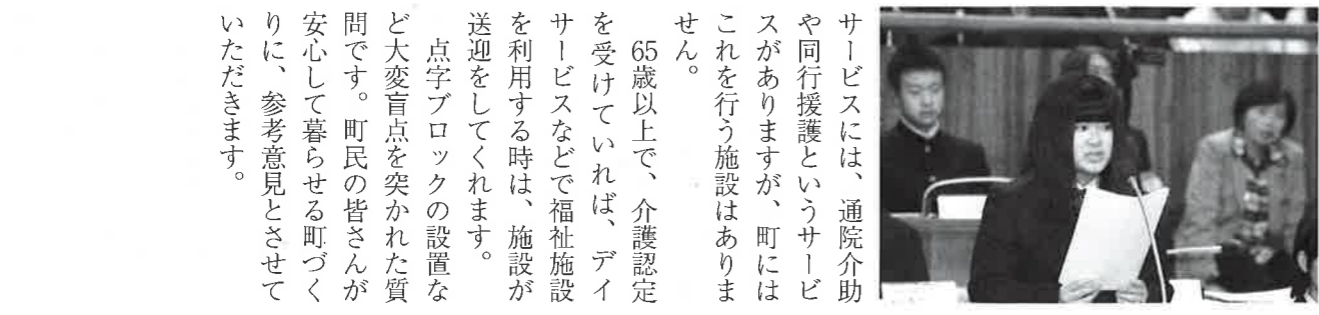
私は、点字ブロックについて調べたところ、町内にはとても少ないことが分かりました。

そして、高齢者がブロックにたまたまきやすいこと、雪でブロックが隠れてしまうことも分かりました。

また、点字ブロックを、是非設置してほしいという要望がほとんどありません。

Q このような点について、どう解決しようと考えていますか。

また、目の不自由な方が、安全で快適な生活を送るために、どのような支援体制で取り組んでいますか。



サービスには、通院介助や同行援護というサービスがありますが、町にはこれを行う施設はありません。

65歳以上で、介護認定を受けていれば、デイサービスなどで福祉施設を利用する時は、施設が送迎してくれます。

点字ブロックの設置など大変盲点を突かれた質問です。町民の皆さんが安心して暮らせる町づくりに、参考意見とさせていただきます。

松木町長 目の不自由な方の、外出などの福祉

食グループ

「ルバーブを使って信濃町をPRし、農家の皆さんを助けよう」
「特産品を使ったスイーツの開発について」
「特産品を加工し、広く広告・販売することについて」



特産品で活性化

私たちは、町の特産品を使った料理を作り紹介することで、町をより活性化したいと思いました。

実際に、作品を何回も作り、3種類のレシピを完成させました。

私たちの作ったルバーブジャムは、大学生の人たちに食べてもらい、好評をいただきました。

しかし、ルバーブを知っている人はほとんどいませんでした。

ルバーブパイは給食センターの方に試食していただいたり、給食のメニューとして実際に提供

していただきました。そして、レシピをもっと町内外の方々に知ってもらい、たくさんの人たちに食べてもらいたいと思いました。

Q 私たちが作ったレシピ集を「広報しなの」でPRできますか。

それ以外にも、ホームページやバス・電車に広告を貼り出すことはどうですか。また、町内外に特産品を使ったレシピを広める方法がありますか。

松木町長 広報担当者が取材させていただき、掲載させていただければと感じました。



電車・バスなどの広告については、費用対効果を考えると難しいと思います。

ご当地スイーツは

私たちは、ルバーブとブルーベリーを使ったお菓子、ティラミス、ジャムを使ったスイーツを作り、道の駅で試食してもらってアンケートを取ったり、文化祭では保護者の方に、レシピを配りました。

Q ルバーブとブルーベリーを使った、ご当地スイーツを開発しPRしてはどうですか。

松木町長 町では「ぼたごしようロールケーキ」「しなのまちタルト」「モンそばン」「ルバーブケーキ」の4つを商品化して道の駅しなの等で販売しています。

「しなのベジ食べるクラブ」は残念ながら活動を終了してしまいました。今後は、関係団体と連

絡を取り、商品開発を検討してまいります。若い皆さんからの素晴らしい提案をお願いいたします。

プロの人が作った料理でPRしては

私たちは、町にどんな特産品があるか調べたり、それらで調理してみました。

しかし、特産物の中には、癖のある味のものもあり、素人が新しい料理を作るのは難しいと感じました。

Q 特産品を使った料理をプロの人や、



知識を持った方に作ってもらい、道の駅やいろいろなお店に置いてもらったり、インターネットなどの通信販売や、テレビCM等で流してはどうですか。

松木町長 農産物の販売には様々な方法があります。また、トマトやモロコシについては、時期によって注文に比べられなという、課題も見えてきました。

数多くの輸入されている農産物の中で、町の特産物を選んで買っていた方法や仕組み作りを農家の皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。

テレビCMについては、高額なものですので、しっかりと考えていきたいと思えます。

ホームページの充実

私たちは、町にもっと観光客を呼び込みたいと思います、オリジナルのパンフレットやポスターを作成したり、町のホームページについて考えてみたいと思いました。

町のホームページの情報は、最新のものがなかったり、詳しい情報が載っていないかたたりします。

また、町のパンフレットなどが置いてある場所を調べてみたところ、比較的近い所にたくさんあることが分かりました。また、多くの外国人が



訪れるのに英語表記になっていません。

Q ホームページに英語表記を入れたらどうですか。

松木町長 10月からフェイスブックを活用し努力していますが、最新情報を告知できておりませんので、今後努力していきたいと思えます。

パンフレットについては、いろいろな所に設置していますが、まだ充分ではありませんので増やすようにしたいと思えます。

英語表記については、ご指摘のとおり対応が遅れておりますので、早急に検討します。

文化財で活性化を

私たちは、町の文化財について調べてみました。

Q 文化財について紹介しているものは、ホームページだけで、建物をPRする活動



はあまり行われていないと思えます。

また、役場でお話を伺ったところ、文化財になりそうなものに「黒姫駅」があるとお聞きしたので、申請してはどうですか。

静谷教育長 町には国の指定文化財が2件、県の指定が4件、町が指定しているものが14件あり、ホームページで紹介している他、地図のついたパンフレットも作成しています。

小中学校の皆さんには、まず町にどういう文化財があるかを知ってほしいと思えます。そして、それを多くの



皆さんに伝えていってもらえたら、それが一番のPRになり、町の活性化にもつながるのではないかと思います。

黒姫駅については、確かに82年を経過した古い建築物ですが、文化財として保存・管理していくためには、多額のお金が掛かるといいう現状もご理解いただきたいと思います。

野尻湖花火大会のPRは

私たちは、町を盛り上げようと、野尻湖花火大会のポスターを作った際、大会当日はアンケートを取りました。

Q 結果から、県外に向けて宣伝したり、来た人全員に「とても良い」と言ってもらえるように、改善していく必要があると思えます。また、屋台を増やすなどいろいろな方法でPRするのも良いと思えます。

松木町長 今年も、皆さんのポスターが良かったのか、近年では最高の2万7千人の方にお越しいただきました。

私もFM湘南などラジオ放送で、町のアピールを5年間くらいしてきましたが、思ったほど来客につながりませんでした。花火大会での、屋台の種類を増やす提案については、実行委員の皆さんにお話ししたいと思います。

花火大会での、屋台の種類を増やす提案については、実行委員の皆さんにお話ししたいと思います。

発信グループ

「信濃町の良さをPRし、観光客を呼び込むために」
「文化財を活用した観光客増加と町活性化について」
「イベントを通じてのPRについて」



ぎかい活動365日

26年10月から12月までの主なもの

全国町村議長 全国大会開催

「町村のさらなる振興発展をめざして」

平成26年11月12日、NHKホールにて、第58回全国町村議長全国大会が開かれ、議長が出席しました。国に対する大会要望24件、地区要望9件、豪雪地帯の振興に関する要望8件を、満場一致で採択しました。

決議

- 一 東日本大震災からの復興及び大規模災害対策の確立を期する
- 一 道州制導入阻止と分権型社会の実現を期する
- 一 町村財政の強化を期する
- 一 議会の機能の強化を期する
- 一 農林水産業振興対策の強化を期する
- 一 中小企業振興対策の強化を期する
- 一 環境保全対策の推進を期する
- 一 情報化施策の推進を期する
- 一 地域保健医療の向上及び医療保険制度の改善を期する
- 一 少子化対策の推進及び社会福祉対策の強化を期する
- 一 教育・文化の振興を期する
- 一 交通及び生活環境の整備促進を期する
- 一 消防体制の強化を期する
- 一 国土政策の推進を期する

特別決議

- 一 基地対策の推進を期する
- 一 過疎、豪雪及び離島等の特定地域の振興を期する
- 一 東日本大震災からの復興と大規模災害対策の確立に関する特別決議
- 一 真の分権型社会の実現に関する特別決議
- 一 道州制の導入に断固反対する特別決議
- 一 町村税財源の充実強化に関する特別決議
- 一 地方創生と人口減少克服に関する特別決議

一茶ストリート誕生祭

一茶通り商店会が立ち上げた「一茶ストリート」は、経済産業省の単年度の補助金を活用した事業です。

黒姫高原や野尻湖への玄関口である黒姫駅を降り立った観光客に「ここは小林一茶のふるさと」と認識してもらえよう、一茶さんのキャラクターなどのステッカーを作成しました。一茶関連の施設を回るマップ（日本語と英語）も作成中です。

また別の補助金も使って、明るく安全な一茶通



やせ蛙まけるな一茶ストリート

県関係要望箇所 現地調査

議会と町では、県関係の道路と河川の改修を毎年県に要望しています。26年度は10月21日に県議・議員、町職員、県建設事務所職員、地区の区長等で、諏訪の原、吹野、北信、富ヶ原、仁之倉、大久保、六月、山桑、古海の道路及び河川の改修要望箇所の調査をしました。

数年かかる工事が多いのですが、今年は新たに地域交流施設の南側グラウンドの裏側の法面が崩れないよう要望、また、六月の池尻川の河川改修の着工を要望しました。

地方自治政策課題研修会

11月17日、長野県地方自治政策課題研修会に出席しました。

この研修会は、長野県議会の実行委員会が企画・主催するものです。今回は銀座NAGANOのコンセプトマネージャー、古田秘馬氏による

改修が必要な池尻川



土砂災害への対策を

黒姫高原スノーパーク安全祈願祭

12月14日、黒姫高原スノーパーク安全祈願祭が行われました。今年はずでに十分な積雪があり、20日のオープンに向けても準備万端ということでした。



雪も充分降りました

農業委員会委員との懇談会

11月5日、笑みの里「かあちゃんち」において、町議会議員と農業委員会委員との懇談会を開催し、農地中間管理事業について、(公財)長野県農業開発公社理事長の萩原正明氏を講師に、勉強会を開きました。

農地中間管理事業は、「高齢で農業をリタイアしたい」という人、「後

地域農業を守るには



今は、後継者の不足や生産者米価の落ち込みなど、あまり明るい話題がないものの、萩原氏によれば「信濃町のコメは全国的に見て、かなり値段を高くしても充分売

編集後記

明けて、おめでとうございます。いつもよりも雪深い新年でしたが、「雪の女王」がまだどこかにいるのかもしれないね。

子ども模擬議会の特集記事は読んでいただきありがとうございました。子どもたちの、素直な要望や町の将来に対する思いが伝わってきました。

私たちが大人も負けていられませんか。夢のある町づくりに努めたいと決意を新たにしたいところです。

さて、編集委員会として、今年もよりよい「議会だより」を発行していきますので、ご愛読いただきたく願います。

(聡)

こんにちは わたしの出番です

今回は、古海（毛見）で11年前から民宿を経営されている西田祐三さんと、野尻湖畔で、フランス料理のシェフとして腕を振るっている水野美帆さんの登場です。

富山市出身の32歳です。父がヨット乗りで、名前に「帆」を入れてくれました。自分でもなんとなく野尻湖に似合う名前だと思っています。昨年オープンした野尻湖畔のサンデープランニング・ゲストハウス・ラ



調理師学校卒業後、ホテルの厨房やフレンチレストランに勤めました。その後「話せば長い」経緯を経てこの店に勤めることになりました。ランプという名前のおどり、いつも明かりが灯っ

ています。児童生徒がこの体験によって何を学んだのか分かる術はありませんが、こうした活動が都会と地方の交流に繋がりを、ひいては文化・経済の相互発展の一助になればと思っています。昨年は日帰りを除いた総数10校1606人のうち、5校18人の児童生徒が我が家を訪れました。今年はどうな出会いがあるのか、今からとても楽しみにしています。

クレーム・ブリュレが自慢です
野尻 水野 美帆 さん
ランプという簡易宿泊施設&レストランのシェフをしています。調理師学校卒業後、ホテルの厨房やフレンチレストランに勤めました。その後「話せば長い」経緯を経てこの店に勤めることになりました。ランプという名前のおどり、いつも明かりが灯っ

最近嬉しかったことは、クリスマス前のチキンロースト約40本が全部売り切れたことです。また、店には地元の方もよく来て下さいますが、皆さんに顔を覚えていただけたのも嬉しいです。土曜日限定の「クレーム・ブリュレ」は私の自慢のスイーツです。ぜひ一度召し上がって下さいね。



我が家では、4年前から首都圏の小中学校が学習の一環として行っている児童生徒の宿泊生活体験を受け入れています。作物の播種・定植・収穫などを行ったり、ジャム作りや木工など、活動

内容が時期や天候によって様々です。一泊二日の中でできることは限られています。信濃町に住んで良かったこと、困ったこと、便利なこと、不便なことなど、日々の思いをできるだけ正確に伝え、私たちの生活にふれてもらっ

小中学生の宿泊体験

古海 西田 祐三 さん

勢津子さん

一茶と俳句

初夢に古郷を見て涙かな 寛政句帖

寛政六（一七九四）年 三十二歳

一茶は宝暦十三（一七六三）年、弥五兵衛の長男に生まれ、弥太郎と命名される。二年後に母が亡くなり、その五年後には継母はつが来て、十歳の時には弟仙六が生まれるが、一五歳の春、江戸に奉公に出された。

ようやく故郷に帰ったのは二十九歳、十四年ぶりである。俳諧師を目指すことを父に語り、三十歳からはじめた俳諧修行の西国の旅ははや二年が過ぎた。

一茶は九州長崎で新年を迎えたが、初夢に故郷を見て涙が出た。寂しい幼少時代を支えてくれた父の姿が思い浮かんで涙してしまつたのだろう。

竹内恒男 抄出



平成2年建立 柏原小丸山公園

初夢に古郷を見て涙かな